

輸血テクニカルセミナー アドバンス 2010 ポストアンケート結果

| | 選 択 | 良かった点 | 改善すべき点 | 今後学びたい技術・知識 | その他の感想・意見 |
|---|-----|--|---|--|---|
| 1 | FCM | レベルの高い教育内容、講師の方々や実務委員の方々・レベルの高い受講生(私を除く)と大変すばらしく本当に良かったです。 | 特にありません。 | 「医師に対してのコンセンサスや報告のやり方」の指導法。 | 本当にありがとうございました。 |
| 2 | FCM | 自己免疫性疾患患者は増加しており、今後も減ることはないという現状で、そのような患者への輸血対応はもちろんのこと、考え方、捉え方など日常業務に即対応できるヒントをたくさんいただけたと思います。 | | 技師がもっている情報(技術)を上手に臨床へ届けられる技術(対人)を教えてもらえれば、地元の若い技師へ伝達する一つの情報にしたい。 | 準備等大変だったと思います。ありがとうございました。 |
| 3 | FCM | 自己抗体の検査について勉強になりました。 | 実技の測定及び解析をグループごとに分けて行ってもらったらわかりやすかった。 | 移植後の患者さんに関する検査。 | |
| 4 | FCM | 講義・実技共に、内容が充実しており勉強になりました。同種血球吸着法は自施設でも実施可能であり、今まで直接クームス(+)、非特異(+で終わらせていた検体も簡単に次のステップに移れるということがわかったので大きな収穫でした。 | | ほとんどの施設にある試薬でできる方法。 | |
| 5 | FCM | 講演は分かりやすくよかったです。実習も時間配分が調度よくやりやすかったです。 | フローサイトの実習の測定は、機械のトラブル、マイクがなかったりして、何をしているのかよく分からなかった(雰囲気的には理解できたが、測定している機械をもう少し目の前で見たかったです)。 | 実習をやってほしい。 | 出来れば東京など、どこから来ても行きやすい場所で開催してほしいです。 |
| 6 | FCM | 自分よりレベルの高い人たちが多くいることが知れてかつ、それらの技師さんたちと直接話げできたことです。また、実習でお互いの手技を見比べることができた。 | 実務委員の対応としては十分と感じております。スタッフの負担も大きいようで今後も続けることができるか心配です。 | HITや洗浄PCの製造方法など、副作用や血液センター集約化の影響への対応関連の実技があっても良いと思いました。 | ①AIHA、DAT(+)患者、複数抗体への対応、②母児不適合・小児輸血関連、③HIT、洗浄PC(副作用、センター集約化対応)、④抗HLA、抗HPA、組織適合関連、HLA適合PCなど、⑤アルブミン製剤、組織接着剤、フィブリノーゲン等の使用関連、⑥その他 …①～⑥のテーマを繰り返しながら(少しずつ進化する)セミナーが継続されることを希望します。福島医大で継続困難であれば、他の施設とのローテ(?)も考えて下さい。 |
| 7 | FCM | 自己抗体のある患者さんの場合 いつも苦慮しているので、試薬もはっきりわからなかったのが参考になりました。 | | 移植の検体の処理。移植の知識を学びたい。 | |
| 8 | FCM | 講演の先生方の話が興味深く勉強になりました。実習に関しては少人数のグループを作って頂き、実務委員の方がついて下さったので安心して実習できました。実務委員の方に濃厚に接触(?)していただけた事、グループ内でいろんな話げできた事が良かったです。 | | | ポイントを押さえた資料をありがとうございました。とても勉強になり、楽しい会でした。 |

輸血テクニカルセミナー アドバンス 2010 ポストアンケート結果

| 選 択 | 良かった点 | 改善すべき点 | 今後学びたい技術・知識 | その他の感想・意見 | |
|-----|-------|---|--|---|---|
| 9 | FCM | lgGサブクラスは自施設で、プレート法からフローサイトに変更予定のため、大変参考になりました。他の施設での対応法やアドバイスをたくさんいただけたので、今後の仕事に役立てていきたいと思いました。 | 手技についての説明は理解しやすかったが、フローサイトの判定等についての説明が難しかった。機種によって設定はちがうと思うが、基本的な考え方もききたかった。 | | 新しい方法を試行していこうと思いますので、今後、こまかい質問をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。 |
| 10 | FCM | 普段接することがほとんどないが、頭の中で(知識として)知っている検査に接することができて良かった。今度必要な時には迷いなく検査を行うことができる。 | 検査時間短縮のために色んなところで工夫して頂いていました。改善が必要と思われるところははありませんでした。 | 上級者向けというよりも、上級者として色んな人に教えるために試験管の振り方等、基本的な部分も取り上げて頂きたいと思います。 | 現在、私の県では約500施設に血液が供給されていますが、技師会に参加しているのは約300施設となっています。残りの施設はほとんど情報なしに輸血を行っています。このような施設を指導するような技師を育成するようなトレーニングがあればと思います。 |
| 11 | FCM | lgGサブクラスをプレート法で行っているため、客観性に乏しく判定に苦慮しています。FCMで測定できる様になればその点を改善できるかと思いました。 | | | 2日間お世話になりありがとうございました。いろいろな手法の極意を聞けて大変勉強になりました。 |
| 12 | FCM | 全国からいらして、今回のセミナーの内容だけでなく、いろいろと勉強させていただく事が出来ました。セミナーも、とても勉強になりましたし、質問にもやさしくいねいに答えていただきありがとうございました。 | お昼お弁当が付く事も記載しておいてほしかった。まわりに店がなかったので少しドキドキしてしまいました。(チョットしたお願いです) | ゲルカラム・ビーズカラム、マイクロプレート、用手法の利点・欠点についての比較。上級者向けとはいえませんが、実際に輸血の行われるベッドサイドでの問題点(輸血セット、針など看護部からの様々な質問に答えられるようにしたい)。 | 病院に戻ってからは、温式自己抗体特異性のある患者への輸血用血液製剤の選択についても一度検討したいと思いました。せっかく来たのだから、業務に活かしたいと思います。御指導いただきました先生方および実務委員の先生方にはとても感謝しております。どうもありがとうございました。 |
| 13 | FCM | いろんな病院の方とお話できた事。普段では出来ない検査を体験することができた。1日目と2日目と班変えをしたのが良かった。 | (班が一緒にならなかった人とあまり話せなかった)ので自己紹介の時間があっても良いかもしれません。 | 移植に関連したもの。 | とても勉強になりました。本当にありがとうございました。また、機会があったら来たいです。 |
| 14 | FCM | 普段やったことのないFCMを用いた試験を実施でき、大変有意義でした。 | DAT(+)患者に対する検査方法。 | 血液型、亜型に対する検査。赤血球以外の検査(HLA、HPA等) | 大変有意義な時間でした。ありがとうございました。 |
| 15 | FCM | 輸血業務に携わる技師の皆さまと面識を持ったこと。経験のない検査について教えてもらった。 | | 自作の試薬についての注意点 | 経験の少ない私も参加させていただいて感謝いたします。 |
| 16 | FCM | 本に載っていることもなかなか自分では理解できなかったことが人からの説明でよくわかった。いろいろな人の話を聞いたことも参考になりました。 | お弁当は一緒に食べられた方が良かったのではと思う。 | 複数抗体の抗体価があまり高くないものの吸着等の技術。 | 実習の用意がしっかりできていてスムーズに実習が出来て考える時間が多く持てたことが助かりました。 |
| 17 | FCM | いろいろな施設の方とお話できたこと。今まで未経験だった検査が実技講習で学べたこと | 特になし。 | | 大変勉強になりました。ありがとうございました。 |

輸血テクニカルセミナー アドバンス 2010 ポストアンケート結果

| | 選 択 | 良かった点 | 改善すべき点 | 今後学びたい技術・知識 | その他の感想・意見 |
|----|-----|--|--|--|---|
| 18 | FCM | 参加人数も程良く、1班当たりの人数も良かったと思います。実習内容も良かったです。 | フロサイトメリーの実習に、もう少し時間がほしかったです。全くの初心者なので、解説ももう少し必要だったと思います。 | | 実習の用意等、大変だったと思います。時間通りに進めることが出来たのは皆様のお陰だったと思います。お疲れ様でした。 |
| 19 | MMA | 講義も実習も大変勉強になった。日頃疑問に思っていることなどを実務委員や他の施設の方に聞くことができて参考になった。 | | 複数抗体の同定法。CD34陽性細胞測定、細胞処理についてなど。 | |
| 20 | MMA | 1日目のMMA実習ではいいいで、色々な質問にもお答えして頂いたので、帰ってから自施設にも取り入れたい検査と考えています。2日目の実習でもディスカッションをしながらの進行だったので他施設さんの対応や考え方がわかってよかったです。 | 特にありません。 | ABOやRh式血液型の遺伝子学的検査。 | 2日間本当にありがとうございました。準備や進行などお疲れ様でした。勉強になることばかりで、遠方から来た甲斐がありました。 |
| 21 | MMA | 他施設の方と色々相談できたこと。2日間の実習がよかった。帰ってからすぐに実施できそ | 特になし。 | | 他の地域でもやってほしい。 |
| 22 | MMA | スタッフの質の高さに驚く→羨ましい→教育の大切さを痛感しました。前回フローサイトメリーを選択しましたが、結果が自分で出せず手ごたえがなかったが、今回は手ごたえがありました。 | 特にありません。 | 免疫の最新の話題。 | 実技2回参加すると、同じ項目だと次回(3回目)は教育講演の内容でどうするかになります。教育講演を福島駅付近で行い、1日参加コースもあれば助かります。お世話になりました。ありがとうございました。 |
| 23 | MMA | 2日間実技ができたこと(通常は1日講義、1日実技が多いので)。 | 実技コースの人数のバラツキ。 | 黒本やテクニカルマニュアルに検査方法が記載されているもので、普段、なかなか出来ない検査について、まとめてできればいいと思います。 | MMAについて、事前の知識がないと選択しないように思いました。何らかのインフォメーションが必要と思いましたが(面白い検査なのでくに)。実務委員の方、2日間お疲れ様でした。ありがとうございました。 |
| 24 | MMA | 普段は出来ない検査を体験でき、なお、自施設でも可能であることがわかり、これから役立つことがうれしく思います。自己抗体を持つ患者の検査の進め方、輸血の選択、またそれが生体内でどう影響を及ぼすかまでの全てを勉強でき、方向性がはっきり見えた事、自施設でやらなければならない事を知ることが出来、大変有意義でした。 | 講師の方によって輸血の選択が違います。ちょっと迷ってしまいます。 | HLA検査等、移植に関連する検査。 | 準備も大変だったと思います。どうもありがとうございました。大変有意義でした。 |
| 25 | MMA | 今まで行ったことのない方法や試薬を使って経験ができて、たいへん勉強になりました。講義もたいへんわかりやすくとともにためになりました。色々な病院の方とお話できて、とても楽しくすごすこともでき、たくさんのお話を教えていただくことができました。 | 特にありません。 | 特定できませんが、一般病院でもとり入れられるような検査(今回のMMAのような)や、自施設にはない試薬等を使って行う方法を体験できるととてもうれしいです。 | 2日間色々とお世話いただいて、本当にありがとうございました。 |
| 26 | MMA | 自己抗体保有患者への対応について、あいまいになっていた知識を整理することができました。実技も指導の方がついていてくれるので、初めて行う手技も不安なく行えました。 | 特になし。 | HLA検査。 | |

輸血テクニカルセミナー アドバンス 2010 ポストアンケート結果

| | 選 択 | 良かった点 | 改善すべき点 | 今後学びたい技術・知識 | その他の感想・意見 |
|----|-----|----------------------|----------|---------------------------------|---------------------------------------|
| 27 | MMA | 余裕を持って進められたので良かったです。 | 特にありません。 | 抗血小板抗体検査、HLAタイピング等、自分では経験がないので。 | なかなか他県の方たちと勉強する機会はないので、情報交換できて良かったです。 |